

行財政改革市民説明会市長あいさつ

本日は、寒い中、またお忙しい中を、行財政改革市民説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用や受付での検温や手指消毒、本人確認書類の記入など、ご協力いただきありがとうございます。

このような、コロナ禍ではありますが、直接、行財政改革の取組状況を市民の皆様にご説明させていただくことが必要であると考え、コロナ対策を講じたうえで、開催させていただきました。

さて、これまで、財政状況の説明会につきましては、令和元年12月、令和2年2月の2度、杵築・山香・大田で、計11回開催させていただきました。

現在、令和2年2月に策定しました「緊急財政対策」を講じているところですが、施設利用の廃止や利用料金の値上げ、利用時間の短縮など、市民の皆様にはご不便やご負担をおかけしています。申し訳ありません。

ご協力のおかげもありまして、財政状況は健全化に向かっております。心から感謝申し上げます。ただ、将来にわたり、安定的で持続的な財政運営を実現するためには、この令和2年度から令和4年度までの「緊急財政対策期間」において、更なる取組が必要です。

次の世代に負担を先送りせず、持続可能な行財政構造を確立するため、昨年8月には「緊急財政対策」を基礎にした、「第4次行財政改革大綱」を策定しました。そして、本年1月、この大綱に掲げる基本理念である「未来（あす）を見据えた持続可能な行財政運営の実現」を図るために具体的な数値目標を入れた「未来戦略推進プラン」を策定したところであり、これを着実に実行してまいります。

今回の大綱とプランの策定にあたって、行政改革審議会委員の皆様には、長期間にわたり慎重審議をいただき、課題分析や今後の行財政改革の推進に向けた取組に対する助言を賜りました。

昼夜を分かたず、ご参画いただきました関係各位にこの場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

さて、本プランでは、限られた財源・人員のなか、最小の経費で最大の効果を発揮できるよう、優先すべき3つの「基本方針」と、11の「取り組み事項」を設定しました。

詳細につきましては、この後、企画財政課長から説明させていただきます

が、プランの確実な実行により、まず第一に、市の貯金であります「財政調整基金」を、市の標準財政規模である100億円の20%を常に残しておく必要があると考え、毎年20億円以上を確保します。次に第二に収入と支出のバランスを示す「経常収支比率」ですが、平成30年度、令和元年度の2ヶ年は不本意ながら100.9%でしたが、これを96%台までに改善させていきます。なお、今年度の令和2年度決算は100%を切る見込みです。そして、第三に借金であります「市債残高」は、200億円以下とし、県内平均に縮減することを目標としています。

今後は、取組の効果を高めるため、毎年度検証（PDCAサイクル）を繰り返しながら、健全な財政運営に努めてまいります。

最後になりましたが、市民の皆様方には、毎年度、その実施結果をご報告させていただきたいと思っております。

今後ともご協力をお願いしまして、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。